

長万部町×東京理科大学 地方創生事業のその後

地方創生事業で開始したミニトマト事業について、3ヵ月に一度ご報告をさせて頂いております。引き続き、本事業にご理解とご支援を賜ります様、宜しくお願い申し上げます。

●トマトハウス栽培及び収穫状況

昨年夏からの1年3ヵ月にわたる収穫が続いてきた2棟目の「エンリッチミニトマト」ですが、最終の収穫まで小径化もせず高い糖度を保ち続けてくれました。これから、古い株の撤収・1月に予定している新たな作付（定植）に向けた培地の整備作業を行います。

一方、3月初に定植し5月中旬から収穫を行っている1棟目のミニトマトも、安定して平均10度を超える高い糖度が出て、順調な収穫が続いております。冬季も継続して出荷させて頂きますので、是非、お召し上がり下さい。

長万部アグリ株式会社 富野農場（ビニールハウス）の状況

2棟目 北側	2021年7月初 定植 2021年8月末 収穫開始 ⇒2022年11月末 収穫終了	1棟目 北側	2022年3月初 定植 2022年5月中旬 収穫開始
2棟目 南側	⇒2023年1月末 定植に向け準備	1棟目 南側	⇒収穫継続中
生育中		収穫中	

●新農場長就任

長万部アグリ(株)では、これまで農場長として頑張ってくれていた黒川純平が退任し、新たに、鍋田和希（なべたかずき）が着任しました。まだ36歳と若いのですが、札幌に家族を残しての単身赴任という形で着任しております。出身大学では農学部で「バイオサイエンス」を選考していて、その後8年間以上農場を経営していた経験がある（当時、胆振震災で営農継続を断念）他、前職では3年間青果販売に従事していた経験をもっています。

「長万部町にも早く馴染みたい。」と考えて頑張っていますので、温かく迎えて頂くと共に、応援頂ければ幸いです。宜しくお願い致します。

●NPO法人「日本に健全な森をつくり直す委員会」主催シンポジウムに木幡町長が登壇

9月11日に東京都品川区のモンベル品川店で開催されたシンポジウム『“気候変動”と“再生可能エネルギー”を考える』において、木幡町長にご登壇頂き、『地方創生と脱炭素とトマト』というタイトルで、

1. 産官学連携の地方創生事業から生まれた日本一のミニトマト（客観的データ分析により「No.1格付」受賞）
2. 地域脱炭素化に向けた取り組み開始（地域レジリエンス強化と脱炭素化の同時実現を目指す環境省の支援を受けてスタートした事業）

について、ご紹介頂きました。東京大学名誉教授の養老孟司先生、ベストセラー『里山資本主義』の著者である藻谷浩介氏、NGO法人「気候ネットワーク」の平田仁子理事と共に気候変動問題を考えるシンポジウムでしたが、当日は、前環境省事務次官、環境省自然環境局長、元林野庁長官、林野庁国有林野部長が、会場で最後まで講演を聞かれていました。

●お問い合わせについては、以下までお願いします。

トマト事業関連：長万部アグリ株式会社 ☎ 070-4800-6833

<https://www.oshamambe-agri.co.jp/>



入居者募集

（有料広告）

● ● ● ● ● 御相談に応じます ● ● ● ● ●

㊦ 堀川アパート

☎ 01377-2-2377 携帯 090-4872-6235

ストーブ・ベッド・その他完備、駐車場完備、敷金なし
月額 28,000円から45,000円まで